

No. 15

場 所	東中野三丁目(鉄道用地内)	樹 木 医		診 断 日	2025 年 11 月 6 日
樹 木 番 号	21	樹高(H)=8.5m	幹周(C)=307 cm	枝張(W)=8.0m	
樹種名	サクラ	植 栽 形 態	☐ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☒ その他		支 柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

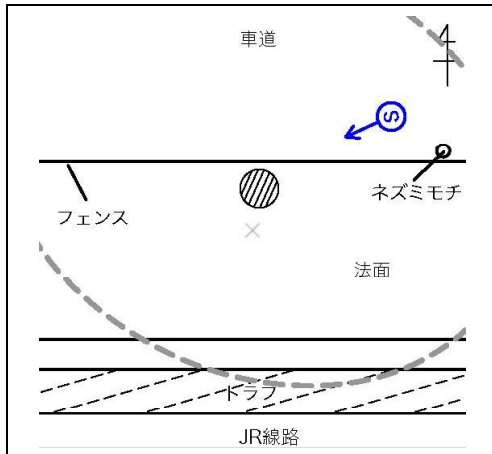
外 観 診 断	活 力 診 断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等		良 ← ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4 ☐ 5 → 不良	
		樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等		☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5	
		所見	樹勢：樹冠部が衰退している。 樹形：概ね問題なし。			
	活力判定	☐ 健全か健全に近い ☐ 注意すべき被害が見られる ☒ 著しい被害が見られる ☐ 不健全				
	部 位 診 断	診断内容 \ 部位	根元	幹	骨格となる大枝	
		樹皮枯死・欠損・腐朽 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	☐ なし ☒ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	
		芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	
		芯に達した開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上	
		上記3項目のうち 最大被害部の周囲長比率	被害部幅 / 被害部周囲長 = 周囲長比率 %	被害部幅 / 被害部周囲長 = 周囲長比率 %	枯枝	☐ なし ☒ あり(φ15cm 25.0m)
		キ ノ コ (子 実 体)	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	スガノカット	☒ なし ☐ あり()
		木 槌 打 診 (異 常 音)	☐ なし ☒ あり(G.L.0-0.2m 大)	☐ なし ☒ あり(G.L.0.2-0.4m 大)	☐ なし ☒ あり(シイサノコサカ(大))	
		分 岐 部 ・ 付 根 の 異 常	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☐ なし ☒ あり()	
		胴 枯 れ な だ の 病 害	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり(樹皮欠損・腐朽)	
		虫 穴 ・ 虫 フ ン ・ ヤ ニ	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	
		根 元 の 揺 ら ぎ	☒ なし ☐ あり()	建築限界越え 車 道 側	建築限界越え 歩 道 側	
鋼 棒 貫 入 異 常		☒ なし ☐ あり()	幹 ☒ なし ☐ あり	幹 ☒ なし ☐ あり		
巻 き 根	☒ なし ☐ あり()	()	()			
ル ー ト カ ラ ー	☒ 見える ☐ 見えない()	枝 ☒ なし ☐ あり	枝 ☒ なし ☐ あり			
露 出 根 被 害	☐ なし ☒ あり(樹皮欠損・腐朽)	()	()			
不 自 然 な 傾 斜	☒ なし ☐ あり()	()	()			
所見	大枝の樹皮枯死・腐朽あり。 大枝の樹皮欠損(剪定痕)あり。 露出根の樹皮欠損・腐朽あり。 大枝のキノコ(シイサノコサカ・大)あり。 大枝付根の樹皮欠損・腐朽(大)あり。 大枝の樹皮欠損・腐朽(大)あり。 枯枝(大)あり。 枯枝(衰弱枝・大)あり。 木槌打診音異常(G.L.0-0.4m)あり。 要機器診断(根株)。					
部 位 判 定	判定・処置 \ 部位	根元	幹	骨格となる大枝		
	健全か健全に近い	☐	☐	☐		
	注意すべき被害が見られる	☐	☐	☐		
	著しい被害が見られる	☒	☒	☒		
	不健全	☐	☐	☐		
処 置	剪定が必要	☐	☐	☒		
	機器診断が必要	☒	☐	☐		
外 観 診 断 判 定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☒ B2：著しい被害が見られる ☐ C：不健全					
判 定 理 由	落下時の危険性が大きい枯枝(衰弱枝含む)あり。大枝にキノコ(シイサノコサカ・大)あり。大枝付根および大枝に樹皮欠損・腐朽(大)あり。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。					

機器診断	測定データ 1 部位(根株) 腐朽空洞率: 50.3 % t/R 率 ① 0.267 ② 0.186 ③ 0.183 ④ 0.508							
	測定データ 2 部位() 腐朽空洞率: % t/R 率 ① ② ③ ④							
	所見	〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。特に①②③方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。						

総合判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☐ B2：著しい被害が見られる ☒ C：不健全
判定理由	機器診断の結果、根株に非常に大きな腐朽空洞が確認された。特に①②③方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。 現状で倒伏の危険性が高いため、伐採を検討する必要がある。残置する場合には風圧軽減のため概ね 1/2 程度まで樹高を低減し、定期的な診断により被害の進行を定期的に観察する必要がある。

No. 15

処 置 内 容	必要性	☐ なし ☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり		
	☐ 要観察(長期周期)	☐ 要観察(短期周期)				
	☐ 剪定(☐ 枯枝	☐ 腐朽枝等	☐ 支障枝	☐ 風圧軽減	☐ スタブカット	☐ 巻き根
	☐ 樹体保護()	☐ 植栽基盤の改善()	☐ 根上がり()	☐ 病虫害防除()	☐ 更新()	☐ その他()
摘	現状で倒伏の危険性が高いため、伐採を検討する必要がある。残置する場合には風圧軽減のため概ね 1/2 程度まで樹高を低減し、定期的な診断により被害の進行を定期的に観察する必要がある。					



立地平面図



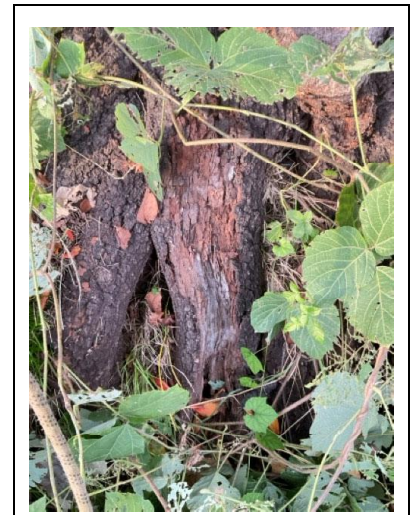
診断概要図



①大枝の樹皮枯死・腐朽



②大枝の樹皮欠損



③露出根の樹皮欠損・腐朽

その他特記事項

次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断
次回診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)
位置座標(WGS84)	緯度 35.706313 経度 139.681400

樹木番号:21



④大枝のキノコ(シイサルノコシカケ)



⑤大枝付根の樹皮欠損・腐朽



⑥大枝の樹皮欠損・腐朽



⑦枯枝



⑧枯枝(衰弱枝)